

# いくつ知ってる？ 川越の歳時記

長い歴史の中で生まれ、育まれ、今に伝えられてきた地域の行事。市には国・県・市の指定を受けた無形民俗文化財があります。また、春や夏には多くの人でにぎわうまつりがあります。

## 南 大塚の餅つき踊り

南大塚・西福寺

1月成人式の前日

数人で臼を囲み、踊りながら餅をつく。臼を引きずりながら餅をつく場面は見どころの一つ。



県

## 筒 がやの神事

石田・藤宮神社

1月15日

小豆がゆにヨシツツを入れてかき回し、ヨシツツに入った米粒の数でその年の作柄と天気を占う。



市

## 老袋の弓取式

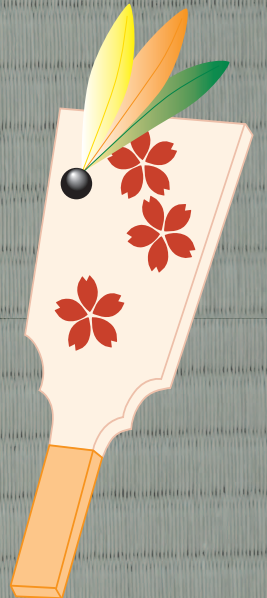
下老袋・氷川神社

2月11日

矢を射って、的の白・黒に当たった矢を数えてその年の天候を占う。



県



## 南 南田島の足踊り

南田島・氷川神社

4月14日ほか

人形を操る人が仰向けになり、足に面を付けて着物をまとい、隣りに合わせて踊る。



市

## 石原のササラ獅子舞

石原町・観音寺ほか

4月第3土曜日ほか

笛や太鼓に合わせ、獅子が太鼓を打ちながら舞う。小唄や乱舞など12の場面がある。



県

## 川 越祭りばやし

中台獅子連中  
今福獅子連中

4月15日前後の日曜日

ほか

大太鼓1・小太鼓2・笛1  
鉦1で、必ず舞方が付く。



県

## 下 下小坂の獅子舞

下小坂・白鬚神社

7月15日前後の日曜日

獅子、仲立ち、ササラツコ、棒使い全てを男の子が演じているのが特徴。



市

## 花火大会

7月または8月



## 福田の獅子舞

福田・赤城神社

7月24日前後の土・日曜日

小学生が演奏できるよう、横笛用から縦笛用に譜面を書き直し、伝統を継承している。



市

## 川越百万灯夏まつり

7月下旬



### 芳地戸のふせぎ

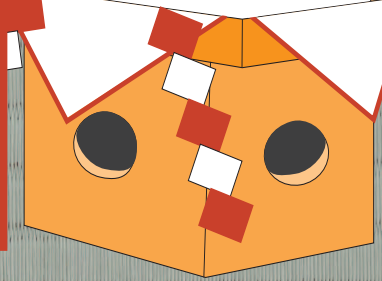
笠幡・尾崎神社  
3月春分の日

悪魔払いの行事。ふれ太鼓を先頭に、行列が地区内の家々を回る。



(市)

### 小江戸川越 春まつり 3月下旬～ 5月上旬



### 石田の獅子舞

石田・藤宮神社  
4月第1日曜日ほか

むしろに麦や米を干すときのように腰を低くして舞うため「干しもん獅子」とも呼ばれる。



(市)

### 老袋の万作

下老袋・氷川神社  
4月第2日曜日

境内に設けた舞台で、万作踊りや芝居を奉納し、豊年万作を願つ、五穀豊穡祝福の芸能。



(県)

### 中福の神楽

中福・稻荷神社ほか  
4月19日ほか

演じられるのは、古事記や日本書紀の神話に基づいた物語が中心。



(市)

### まんぐり

上寺山・八咫神社  
7月第2日曜日

竹に麦わらを俵状に巻いた「ボンテン」を担ぎ地区内を回る。夏の疫病などを払う行事。



(市)

### 鯨井の万作

鯨井・八坂神社  
7月15日前後の日曜日

巨大な獅子頭を先頭に地区内を回り、家の庭先などで万作踊りを披露する。



(市)



国 国指定重要無形民俗文化財

県 県指定無形民俗文化財

市 市指定無形民俗文化財

### ほろ祭

古谷本郷  
古尾谷八幡神社  
9月敬老の日の前日

小学生の男の子がほろを背負い、ゆうらしなから練り歩く。



(県)

### 川越氷川祭の山車行事

10月  
第3土・日曜日

慶安元年(1648)、当時の川越藩主松平信綱が祭礼道具を寄進したのが始まり。



(国)

### 川越の木遣い

何代もの口伝を繰り返して伝承されている。川越まつりの山車の運行時や、祝い事などで歌われることが多い。



(市)

### 上寺山の獅子舞

上寺山・八咫神社  
10月第3土曜日

獅子に「ほめ言葉」がかけられると、「返し言葉」で獅子が応えるやりとりが特徴。



(市)